

2 月 24 日：リスク回避の動きから、VN 指数は反落

ウクライナ情勢の緊迫化から、マーケットではリスク回避の動きが強まった。

ホーチミン市場の VN 指数は 1.15% 安の 1,494.85 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 0.59% 高の 1,512.30 ポイントで引けていた。

騰落別では 396 銘柄が下落、75 銘柄が上昇した。

出来高は過去最高を記録し、売買高は 11 億 6,000 万株超、売買代金は 35 兆ドン（15 億米ドル）となった。

VN30 指数は 1.09% 安の 1,522.04 ポイントで取引を終えた。同指数採用銘柄のうち、25 銘柄が下落、5 銘柄のみ上昇した。

主な値下がり銘柄には HD バンク（HDB）-4.2%、サコムバンク（STB）-4%、TP バンク（TPB）-3.5%、リエンベトポストバンク（LPB）-3.8%、ビンググループ（VIC）-3.5%、ヴィエティンバンク（CTG）-3.2%、ホアファットグループ（HPG）-1.5%、PV パワー（POW）-2.2%、ビナミルク（VNM）-1.8%が含まれた。

また銀行株は大きく下げ、マーケット全体の重しとなった。アジアコマーシャル銀行（ACB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、ヴィエティンバンク（CTG）、軍隊商業銀行（MBB）、サコムバンク（STB）、TP バンク（TPB）などが売られた。

さらに不動産、建設銘柄への売りも目立った。主な値下がり銘柄にはタスコ建設（HUT）、LDG 投資（LDG）、DIC 不動産（DIG）、CEO グループ（CEO）、ダットサイングループ（DXG）、ホーチミン市インフラ投資（CII）、ドリームハウス投資（DRH）が含まれた。

セクター別では全 25 業種中、不動産、小売、銀行、農業、ゴム製品、水産加工、建設、物流、証券、ヘルスケア、食品飲料、建設を含む 19 業種が下落した。

ハノイ市場の HNX 指数は 1.73% 安の 434.88 ポイントで取引を終えた。同指数は前日 1.87% 高の 442.54 ポイントで引けていた。

売買高は 1 億 5,900 万株、売買代金は 4 兆 7,000 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。